

衛生行政報告例の概況

1 精神保健福祉センターにおける相談等

精神保健福祉センターにおける来所による相談延人員は188人となっている。主な相談内容別にみると、「思春期」が49人（26.1%）と最も多く、次いで「心の健康づくり」48人（25.5%）、「ギャンブル」23人（12.2%）となっている。電話による相談を受けた延人員は5,990人、電子メールによる相談を受けた延人員は25人となっている。

2 栄養

給食施設数は、前年より14施設増加し939施設となっている。施設別にみると児童福祉施設が261施設（27.8%）と最も多く、次いで学校の134施設（14.3%）となっている。

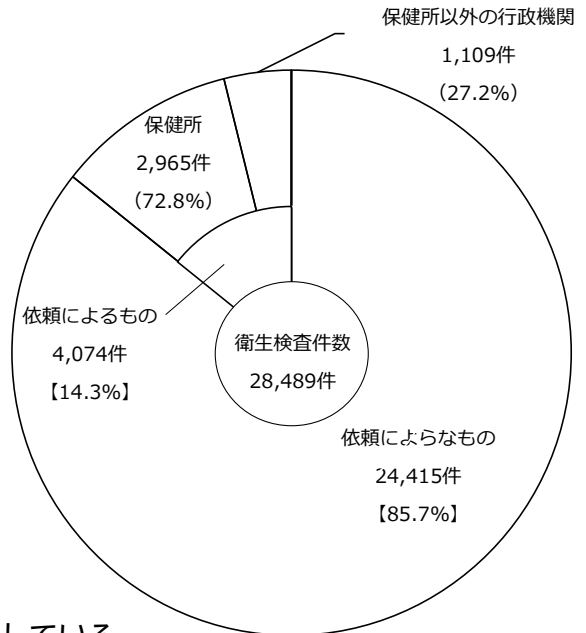
3 衛生検査

衛生薬業センター及び環境センターにおける検査件数は28,489件で、依頼によるものが4,074件、依頼によらないものが24,415件となっている。

依頼経路別では、保健所が2,965件と最も多く、そのなかでは、細菌検査が1,289件と最も多い。

依頼によらないものでは、放射能測定が11,931件と最も多くなっている。

図1 衛生検査状況 令和元年度 佐賀県



4 不妊手術

不妊手術件数は74件で、前年と比較すると7件増加している。

5 人工妊娠中絶

人工妊娠中絶件数は1,048件、前年と比較して件数は72件減少し、実施率（15歳以上50歳未満女子人口千対）は6.8%で、前年より0.4ポイント下回っている。

人工妊娠中絶実施率は、平成13年度から28年度まで低下し続け、平成29年度には一旦上昇したものの、平成30年度からは再び低下へ転じている。

図2 年齢階級別人工妊娠中絶実施率 佐賀県

